

A. 主な動き

1. 経済

▼エネルギー戦略

・30日、経済省は、2012-2030年のエネルギー戦略を政府に提出した旨報告。本戦略は2020年までにEUエネルギー市場へのモルドバの統合を完遂することを想起するとともに、同市場への統合を目指す国の地位を強化し、電力の国内生産のポテンシャルを最大限に使用すべき旨記載。

▼国家予算

・2日、議会は、最終読会において2013年度国家予算案を承認。歳入は227億レイ、歳出は236億レイ、財政赤字は8億7,000レイ。

2. 外政

▼フィアト首相のポーランド訪問

・29日、フィアト首相は、ポーランドを訪問し、コモロフスキ大統領との会談において、モルドバはEUとのDCFTAを含む連合協定及び査証免除に関する交渉を2013年11月までに終了することを目指している旨発言。双方は、経済協力問題に関し協議し、コモロフスキ大統領は、モルドバの欧州統合路線及び沿ドニエストル紛争の早期解決問題においてモルドバを支持する旨表明し、また、12月3日にモルドバを訪問する意向である旨発言。

・同日、フィアト首相は、トゥスク首相と会談し、経済、投資及びエネルギー分野を含む二国間関係強化に関し協議。トゥスク首相は、ポーランドは2013年もモルドバに対し2012年規模の財政支援を行う決定をした旨発言。

▼フィアト首相のトルコ訪問

・1日、フィアト首相は、アンカラにおいてギョル大統領と会

談し、両国経済関係の動向に関し協議。ギョル大統領は、モルドバのエネルギー分野における投資計画に関心がある旨発言。

・同日、フィアト首相は、エルドアン首相との会談において、経済、政治及び観光分野における協力の活性化、モルドバに居住するガガウズ人の問題等に関し協議。両国政府の代表は、査証相互免除、不法滞在者の送還、教育、地図作成、環境保護分野における協力等に関する両国間の合意文書に署名。

・同日、フィアト首相は、チチェク大国民議会議長と会談し、両国議会間関係の深化等に関し意見交換。

・2日、フィアト首相は、イスタンブールの黒海経済協力機構(BSEC)事務局を訪問。また、同日、同首相は、モルドバ・トルコ投資・貿易フォーラムに出席。

3. 沿ドニエストル

・2日、カルボフ国家再統合問題担当副首相とシュタンスキ「外相」は、キシナウのOSCE事務局において会談し、信頼醸成措置の促進、放射線源の沿ドニエストル地域からの搬出、人及び貨物の自由な移動、卒業証書の認定、沿ドニエストル地域におけるラテン文字使用学校の教育、人権に関する作業部会の設置及び放送通信分野における協力問題等に関し協議。

4. 防衛

・2日、国防省は、モルドバ国防省とトルコ国防省間において地図作成分野での協力に関する議定書に調印した旨発表。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)